

# はじめに

## 私たちのビジョン=実現可能な夢

「創業100年企業を目指し、全農グループとして地域に根付き、食の提供と農業振興に貢献します。」

創業以来半世紀以上に渡り、社員一丸自信と誇りを胸に事業を継続してきました。これからも夢を実現していきたい、という社員一同の思いです。

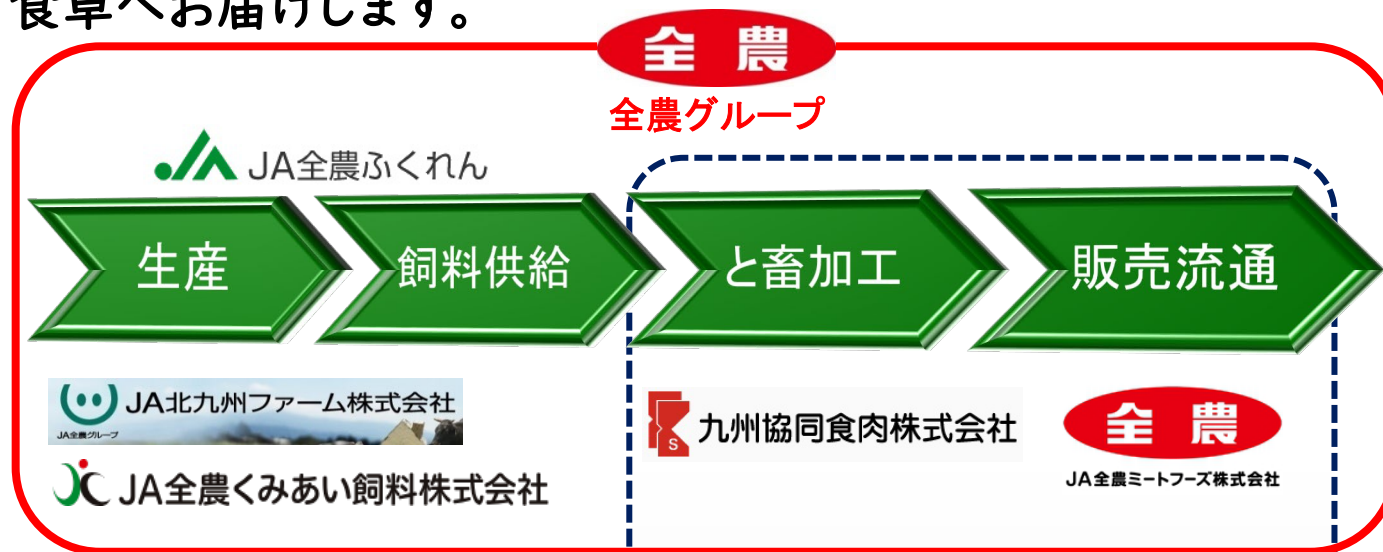
「食」は生きる上で欠かすことのできない重要かつ永続的な要素です。

私たちは食肉センターとしての社会的役割を理解し、地域から親しまれる食の供給基地として、安全・安心な畜産物を国内外へ発信したいと考えています。

九州協同食肉株式会社  
JA全農ミートフーズ株式会社

# 1. 全農グループの取組み

私たちは、全農グループ一体となって、安全・安心な食肉を、国内外の消費者・食卓へお届けします。



消費者



世界へ輸出



～ 役割 ～  
国内外への販売・  
流通拠点機能



## 2. 会社の概要

### 九州協同食肉株式会社

(太宰府市都府楼南)

創 業	昭和38年8月
資 本 金	2億9,350万円
株 主	JA全農、JAさが、JA熊本経済連、福岡県内16のJA
従 業 員	令和7年3月末現在 63名
事業内容	肉畜のと畜解体、肉畜の集荷・販売、副生物等の処理・加工・販売、 食肉の冷蔵保管、畜産物の加工販売、畜産物の輸送他



JA全農ミートフーズ株式会社

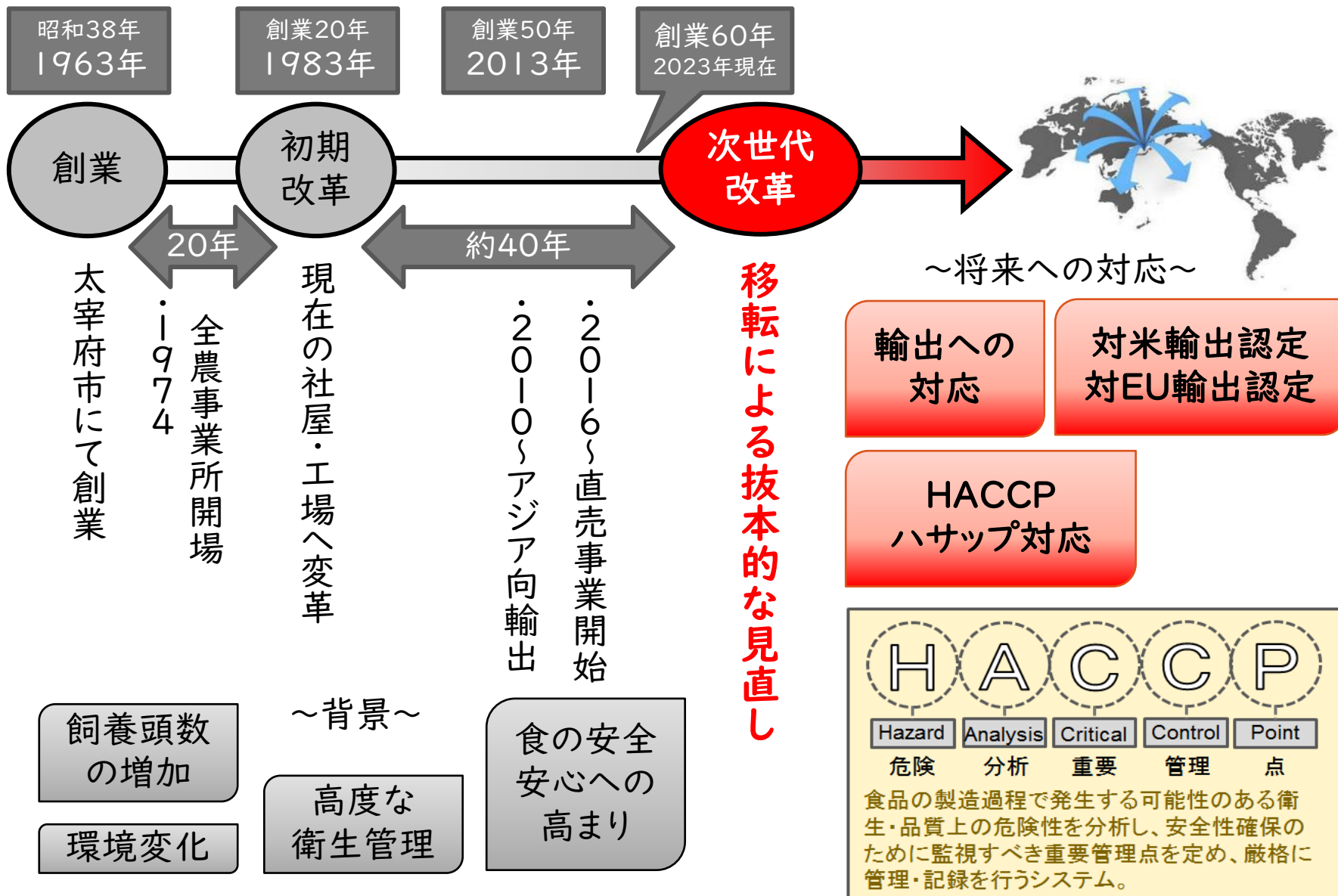
### JA全農ミートフーズ株式会社(九州営業本部)

(太宰府市都府楼南)

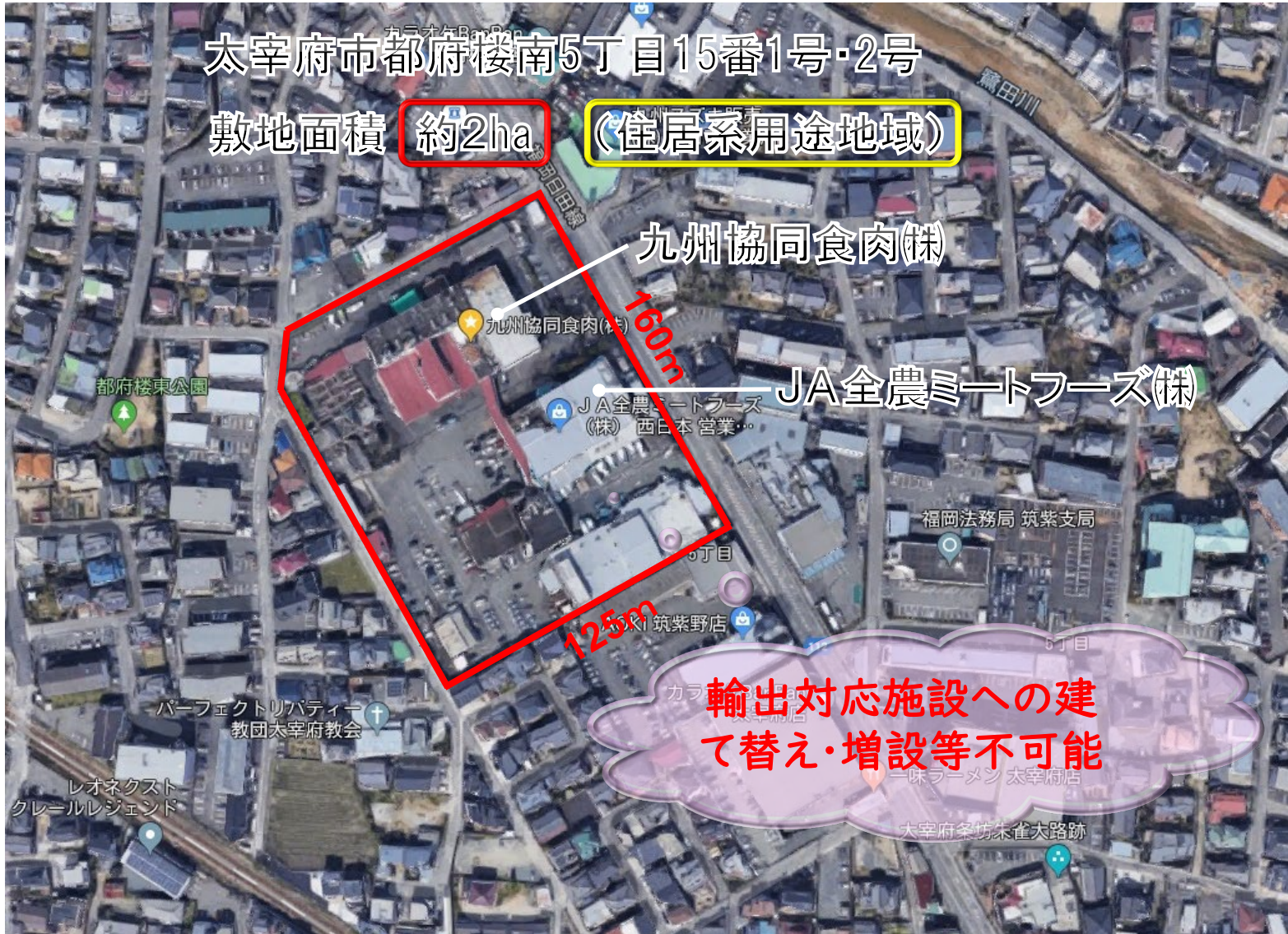
創 業	平成18年9月(昭和49年 全農事業所開場)
資 本 金	28億8,020万円
株 主	JA全農
従 業 員	令和7年3月末現在 1,685名(内・九州営業本部372名)
事業内容	食肉および食肉加工品の仕入れ・保管・販売、 食肉加工および包装肉製造・販売、直営店舗の運営



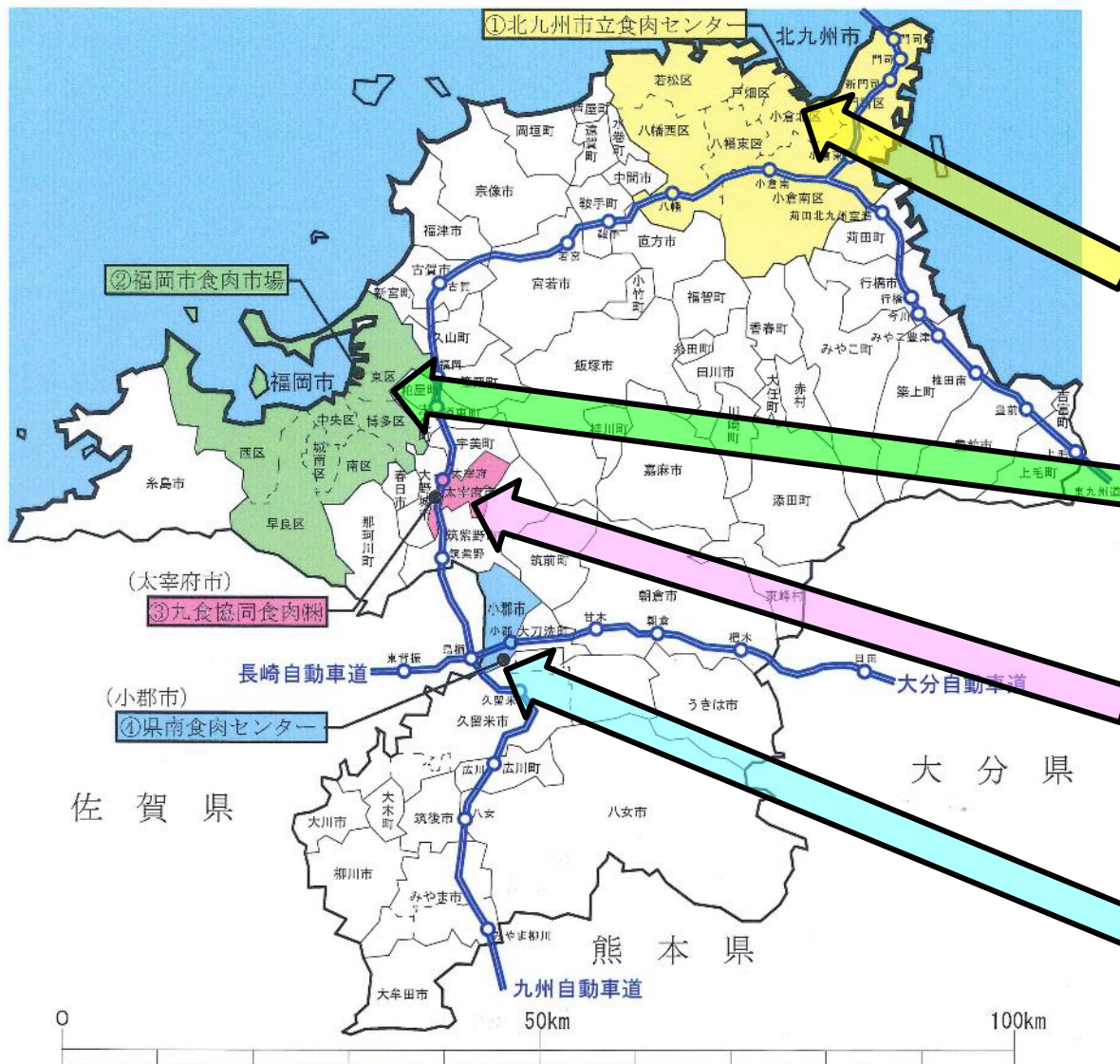
# 3. 食肉センターの課題① (輸出への対応)



## 4. 食肉センターの課題② (現・敷地要件)



# 5. 福岡県内食肉処理施設の現状



凡 例

※全国の食肉処理施設 約180箇所  
九州の食肉処理施設 約 50箇所  
福岡県内の食肉処理施設 4 箇所

## ①北九州市立食肉センター

北九州市小倉北区末広 (S63年開設)  
市営・牛8千頭・豚28千頭/R1度

## ②福岡市食肉市場

福岡市東区東浜 (S34年開設・H12移設)  
市営・牛23千頭・豚129千頭/R1度

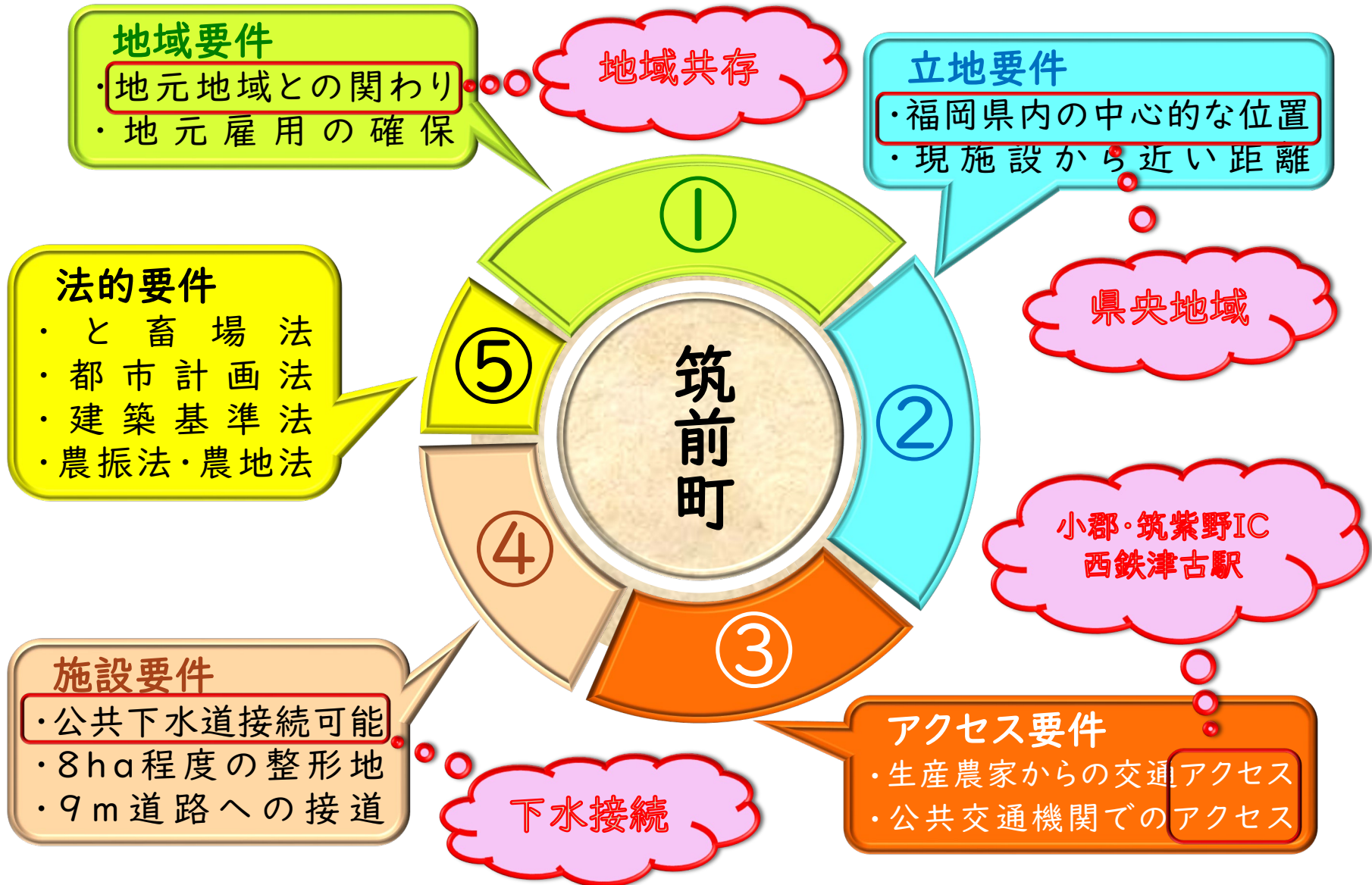
## ③九州協同食肉株式会社

太宰府市都府楼南 (S38年開設・S58改築)  
会社・牛17千頭・豚62千頭/R1度

## ④県南食肉センター

小郡市光行 (H4年開設)  
組合・牛230頭・馬1,200頭/R1度

# 6. 移転先の5要件



# 7. 新施設の概要

## 主な施設の概要(案)

### ① 食肉処理加工施設

- ・(牛)(豚)と畜・加工・冷蔵保管設備一式
- ・日処理能力(頭数) 豚換算860頭/日  
(牛) 90頭/日 (豚) 500頭/日

### ・主な施設

鉄骨造平屋建作業場(事務所部分のみ3階建)

延床面積 約15,000㎡および付帯設備

- ・通常操業(土日祝除)朝8時より夕方5時まで

### ② 九州協同食肉(株)本社及び

JA全農ミートフーズ(株)九州営業本部の社屋

除害施設(浄化槽)他関連付属施設一式

※写真はイメージ

(株)ミヤチク都農工場



(既設豚カット室)



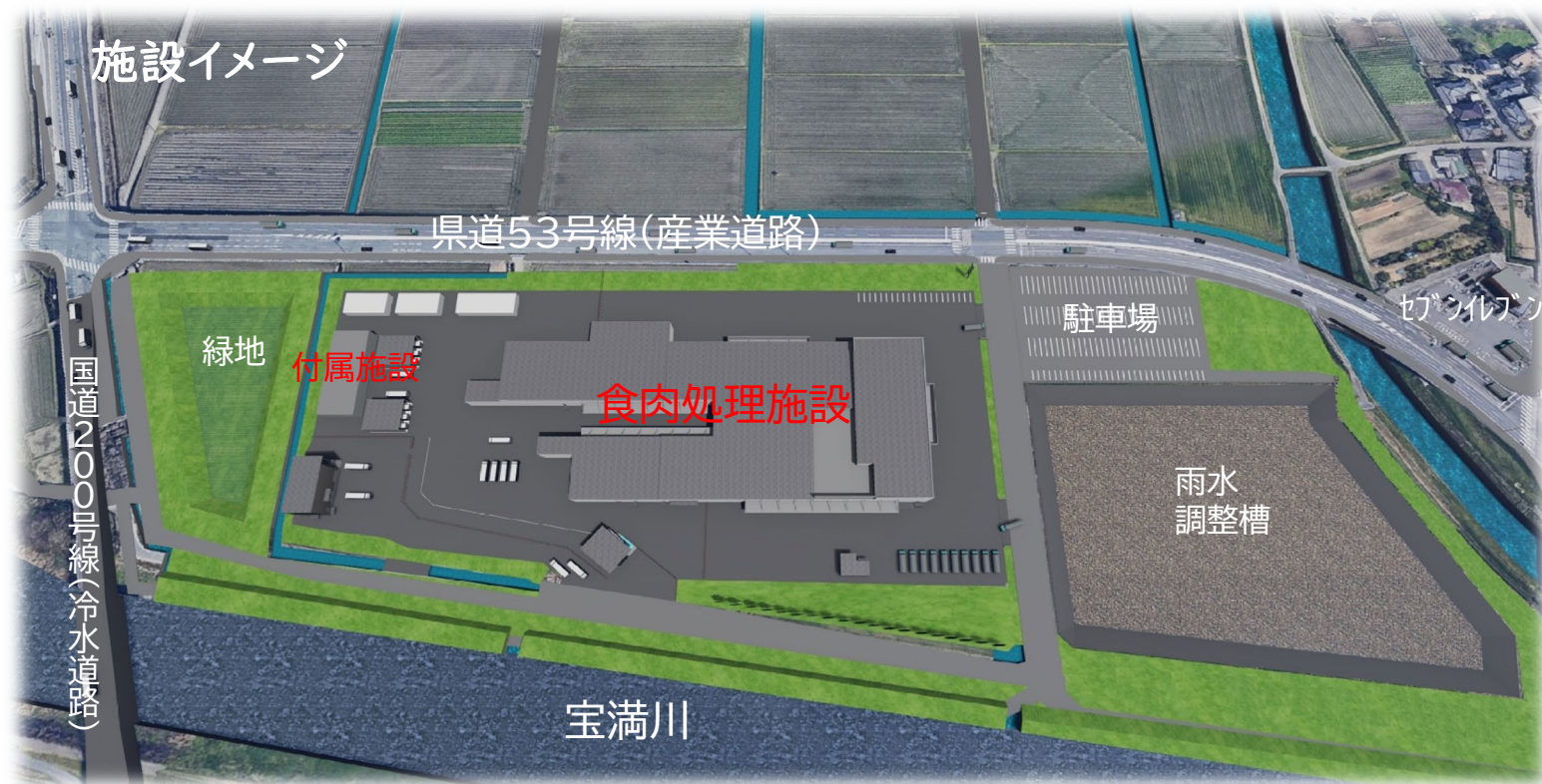
(既設事務室)



# 8. 施設のコンセプト・イメージ

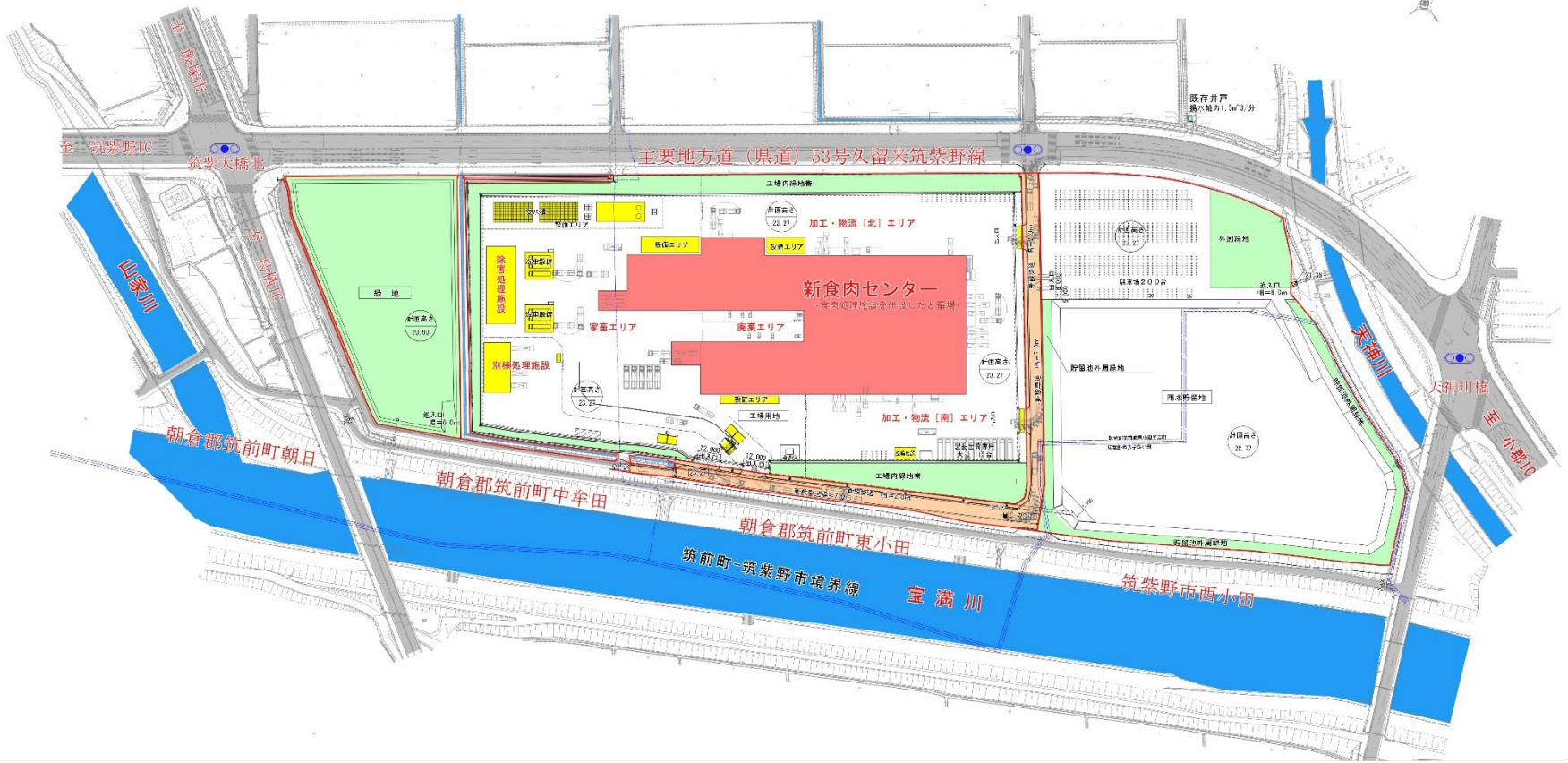
## 施設コンセプト

- ・従来のと畜場という概念を超えた衛生・安全を考慮した食品工場  
(米国農務省衛生安全基準、HACCP(ハサップ)対応可能な施設・設備)
- ・コンパクトな省エネ環境配慮型施設

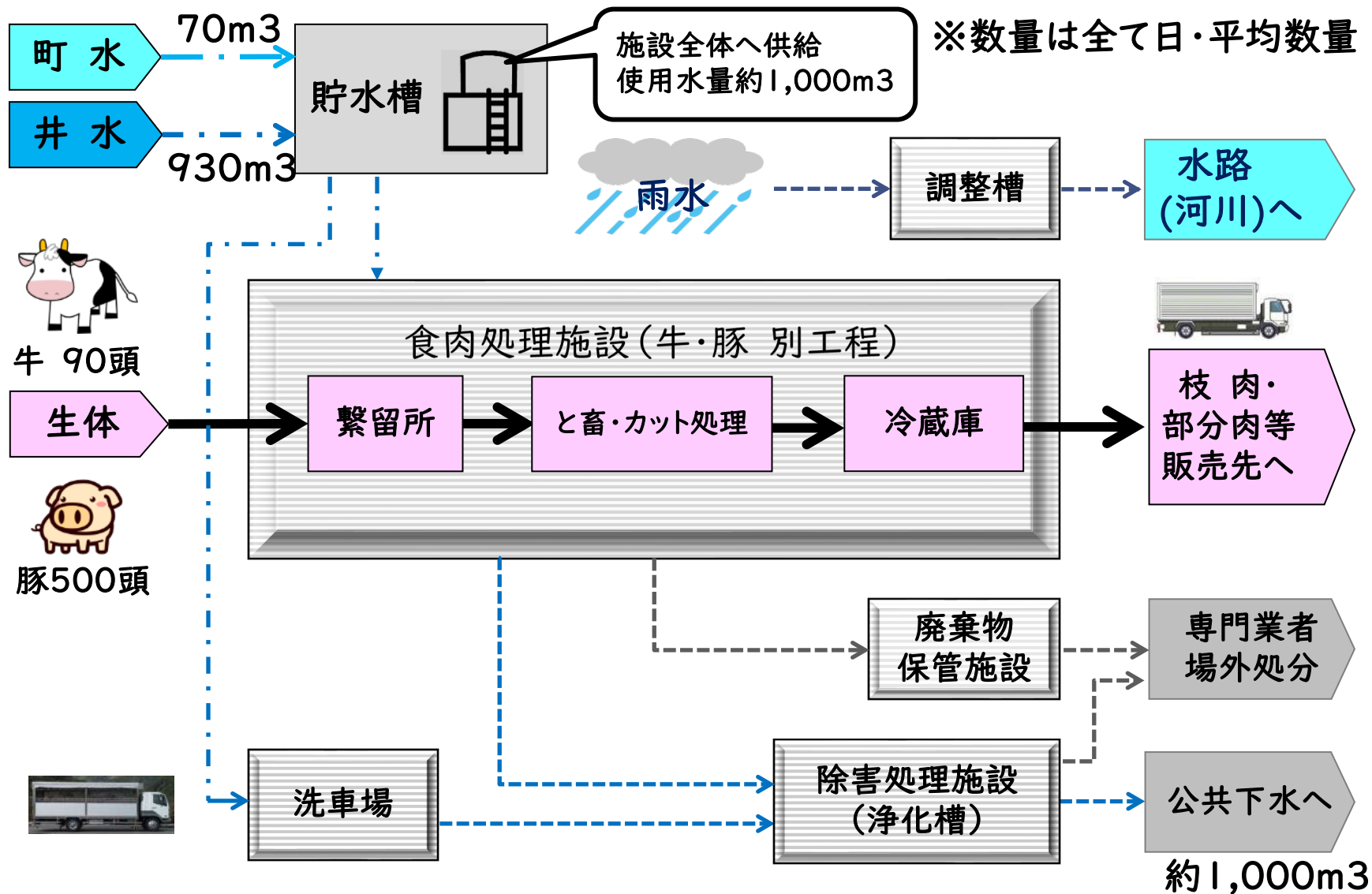


# 9. 施設レイアウト

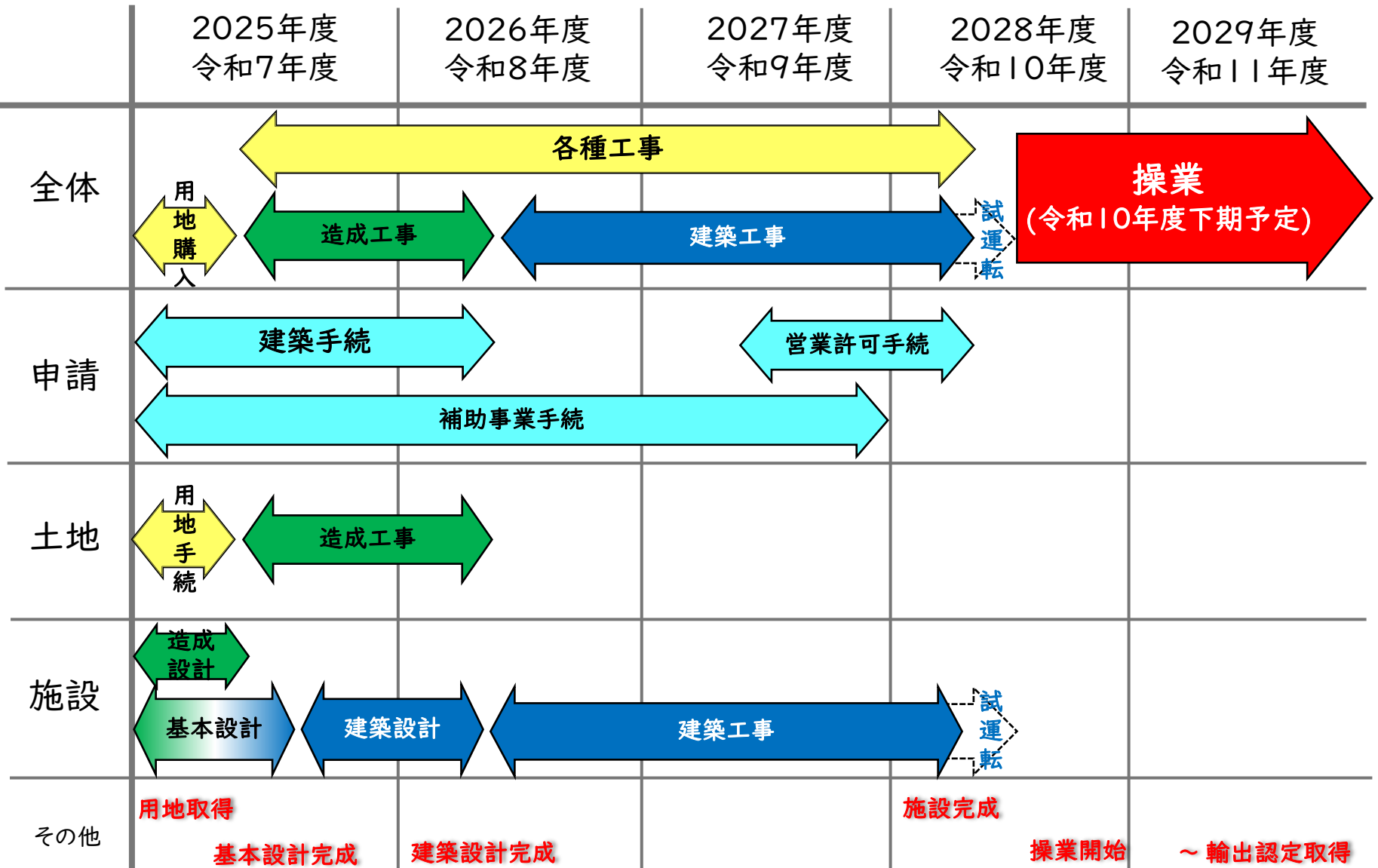
## 土地利用計画(案)



# 10. 施設全体フロー図



# 11. 事業スケジュール(予定)



# 1.2. 環境対策の概要

## STEP(1)

### 「環境調査」

- ・工事による動植物等自然環境の保全5項目
- ・操業による生活環境の保全5項目

## STEP(2)

### 「環境対策」

- ・調査結果に基づく対策
- ①騒音      ⑤廃棄物
- ②大気汚染   ⑥雨水
- ③井戸      ⑦防疫
- ④交通      ⑧緑化

## STEP(3)

### 「環境保全協定」

- ・環境調査や具体策に基づく、操業に関する保全協定の締結



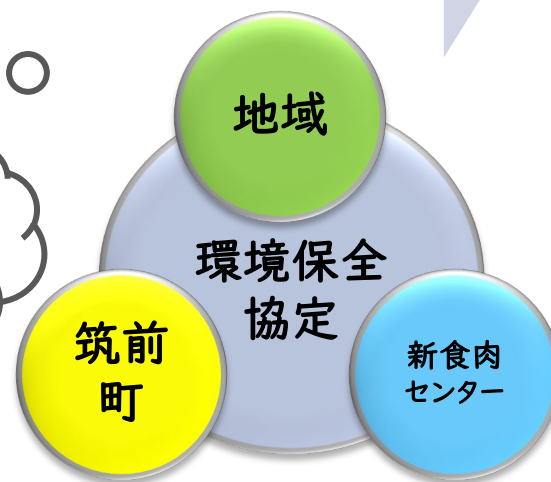
まずは  
調査



丁寧な  
対策と  
説明



最後は  
約束



# 13. 主な環境対策①②③④⑤⑥⑦⑧

## ①騒音対策



- 作業場は常時、窓などが開放されていない密閉型施設とし、騒音が外部に伝わりにくい建物とします
- 敷地外周部に緑地帯を配置します
- 冷蔵庫等の室外機は設置場所を配慮し、防音壁を適宜設置します

## ②大気汚染等臭気対策



- 工場廃棄物は、専門業者による場外処理（場内焼却は無し）
- 家畜の荷下ろしは建物内（屋内）で実施します
- 家畜運搬車は、県食肉衛生検査員指導による清潔な車両にて搬入され、荷下ろし後の車両は洗車施設での洗浄、退出時には消毒ゲートを経由する、二重の衛生対策を実施します



### ③井戸水対策

- 井戸水使用に伴う周辺地域の現状利用調査を実施します
- 調査結果を踏まえた揚水計画を策定し、操業後は観測井戸のモニタリングにより適宜チェックします



### ④交通対策

- 事前の交通量調査に基づき、適切な出入口の設置と搬入出計画を実施します
- 大型車については県道53号経由のアクセスを中心とします



### ⑤廃棄物等害虫対策

- 廃棄物は専用容器にて屋内一時保管し、適宜、専門業者による場外搬出とします
- 特に害虫が発生しやすい場所については、定期的な清掃と徹底した衛生管理を実施します



## ⑥雨水対策及び公共下水利用・漏水対策



- 場内雨水対策について、周辺農地や水路に影響が出ないように、場内に調整槽や浸透槽を設置します
- 工場作業等による排水については、場内にて除害（浄化）処理後、全量公共下水へ接続します
- 漏水対策として、除害施設（浄化槽）は、日常維持管理と専門業者によるメンテナンス・法定点検を含む定期的な検査を実施します



## ⑦家畜防疫対策

- 農林水産省が定める飼養衛生管理基準や家畜防疫マニュアルに基づき、各農家において、家畜診療獣医師、家畜保健衛生所、JA他関係団体が一体となった防疫対策がなされ、食肉センターにおいては、常勤の福岡県食肉衛生検査所獣医師による牛・豚全ての検査が行われます



## ⑧周辺環境への配慮

- 周辺環境に配慮した緑ある食品工場づくりに努めます

# 14. 地域貢献の取組み

新食肉センターは、地域の一員として様々な企業活動を通して地域の発展に寄与してまいります



周辺地域

地元からの雇用

- ・労働者数約150名の内、採用予定人数約15名(創業時)
- ・現状従業員の内、約70%が、地元居住者(定住者)

地元企業・商店の活用

- ・施設管理業務委託
- ・従業員の福利厚生
- ・会議、イベント等

「食と農」に関する活動

- ・近郊の学校等への出前授業や工場見学
- ・施設開放イベントの実施



新食肉センター



# 15. 現施設での取組み【①景観づくり】

## (1) 緑あふれる工場づくりと景観づくり



# 15. 現施設での取組み【②会社イベント】

(2) 九州管内系統和牛枝肉共励会 (4日間延・関係者約1,000名来社)

毎年9月、九州各県の農家より出品された和牛肉について、4日間に渡り、審査や表彰を行います



(3) 福岡県肉畜共進会 (4日間延・関係者約100名来社)

毎年10月、福岡県内の農家より出品された肉畜について、4日間に渡り、審査や表彰を行います



# 15. 現施設での取組み【③関連店舗等】

(4) JA全農ミートフーズ株式会社九州営業本部 関連店舗

・直売施設(太宰府市内)



・JA筑紫 ゆめ畑 春日店 との連携した取組み(春日市内) ※平成30年3月23日オープン



# 15. 現施設での取組み【④CSR活動】

(5) CSR活動 (Corporate Social Responsibility / 地域社会への貢献活動)

① 地元中学校への出前食育活動 (JA全農ミートフーズ(株)九州営業本部)



② 地域親睦お花見バーベキュー大会

平成30年開催418名、平成31年開催410名の地域住民の方が参加されました



おわりに

私たちは約束します。

「創業100年企業を目指し

全農グループとして地域に根付き

食の提供と農業振興に貢献します」



JA全農ミートフーズ株式会社  
<http://www.jazmf.co.jp>



九州協同食肉株式会社  
<http://kkskk.co.jp/>